



南御座保育園

梅雨に入り、じめじめと蒸し暑い日が続いていますが、晴れ間には太陽の日差しが夏を感じさせてくれる 季節になりました。温度や湿度管理に十分気をつけて、元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

夏に流行する感染症

ヘルパンギーナ



突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほ う、口内炎が特徴です。症状が軽けれ ば1~4日くらいで解熱します。

<登園のめやす>

熱が下がって口腔内の水疱・潰瘍の 影響なく、普通の食事が取れるこ

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうが でき、発熱することもあります。食 事は喉越しのよい物を食べましょ

<登園のめやす>

熱が下がってから1日以上経過し、 普通の食事がとれるようになってから。



ウイルス感染によって起こる病気です。

他人への感染力も強いので、必ず受診を

して医師の診断を受けましょう。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5 日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみ など結膜炎のような症状も出ます。食事は消 化のよい物を食べましょう。

<登園のめやす>

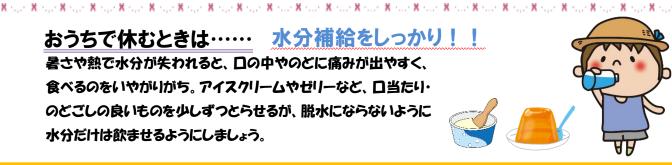
発熱、充血等の主な症状が消失した 後2日経過していること。

おうちで休むときは…… 水分補給をしっかり!

暑さや熱で水分が失われると、口の中やのどに痛みが出やすく、 食べるのをいやがりがち。アイスクリームやゼリーなど、口当たり・ のどごしの良いものを少しずつとらせるが、脱水にならないように 水分だけは飲ませるようにしましょう。







具合が悪いときは・・・

- 早めの受診
- 「安静」も大切なくすり

子どもは、熱の出はじめは比較的元気です。しかし、ウィルスや細菌と 戦って次第に体力が落ちてきます。体力の落ちているときに、無理をす ると回復が遅れます。症状が治まっても、一日は家庭でゆっくり休息を とってから登園しましょう。

新型コロナウイルスが5類に分類されてイベント等緩和されるようになりました。 ですが、季節性インフルエンザとともにまだ流行が見られている状態です。 お子様の体調の変化に留意しながら、今から訪れる暑い季節をみんなで乗り切りましょう!!